

視聴覚教育

授業改善研究会を終えて

美川中学校 高木和広

去る六月二十三日（火）に、本校を会場として松下視聴覚教育研究財団主催による授業改善研究会が開催された。午前

十時二十分から行われた開会式では、財団事務局長の木村氏、市教育長の横井先生のご挨拶をいただいた。そして、公開授業、研究協議、事例発表、講演へと続き、午後四時二十十分に閉会式を行い本会を終えた。午前中、あるいは午後からの参加に分かれたが、九十名ほどの先生方が本会に出席された。

公開授業では、本校の渋谷富彦教諭が、アナライザーを取り入れた数学の授業を行った。生徒数に倍する参観者に、生徒たちはやや緊張気味であったが、教材提示装置とアナライザーを活用した授業に真剣な取り組みを見せていた。その後の研究協議会では、本授業におけるアナライザーの活用の仕

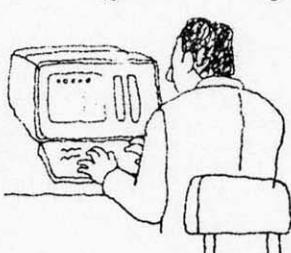
NO 134
発行日 7. 2
発行 岡崎市 AVL
編集 広報委員会

方などが話題の中心となつた。なお、この協議会では、助言者の市教委筒井一夫先生から的確な指導をいただいた。また、午後の事例発表においては、龍海中学校の畔柳義範教諭が、パソコンを授業に活用した発表を行い、講演をしていた。だいたい早稲田大学教授高橋勉先生からも賞賛していただいた。

一日を費やした研究会であつたが、各方面からのご協力により、意義のある会になつたと思つてゐる。

学級で、簡単に図表や子どもの学習成果を大写しできるOHPも、セットする手間や、視聴者の視野をささぎる欠点がある。

最近では、少ない消費電力で明るい画面のものやズームアップできる大型のものが売り出されている。しかし、特別教室で使用する時や体育馆での集会活動など持ち運ぶときには不便である。そこで、小型で折りたたんで移動できるポータブルOHPに注目したい。スライドフィルムを装着できる機種もあり、利用価値が高い。



パソコンの教育的利用（講習会）

常磐中学校 山田賛平

今年の二月十四日、松下視聴覚財団主催の教育ニューメディアセミナーに参加する機会を得ることができた。この中で、特に印象に残ったことをまとめてみたい。

（帝塚山学院大学 教授 平田啓一先生の講演より）

パソコン利用の視点

・ほしい情報を瞬時に提供する。

・相当な情報量が必要だが、この入力 자체が勉強

・効果的なドリルが多彩にできる。

ひとり一人の能力に合わせた指導、音の映像化など
・ドリルの結果をひとり一人の情報として記録できる。

・個別学習をより深く進めることができる。

学校教育におけるパソコン普及率

・日本はOECD中最低の普及率・外国は生き残りをかけて、コンピューター教育に取り組んでいる。

（文部省 社会教育部 学習情報課 佐賀啓男先生）

・メディアセンターの充実

・画面またはカットの教材の集大成が望まれる。

・ソフトの整理・伝達・FM放送などの利用

夏期実技講習会のお知らせ

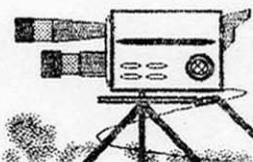
視聴覚教育技術者講習会（16ミリ映写機等）

7月25日（土）～26日（日）の2日間 【太陽の城で】

時間・9時～17時（25日は13時～17時30分）

*16ミリ映写機の操作等（学科・実技試験あり）

*16ミリ映写機操作認定証のない人（一般募集者を含む）



ビデオ講習会

8月3日（月）～4日（火）の2日間

【緑丘小学校で】時間・8時30分～16時

*ビデオの基本操作、つなぎ撮り編集

電子編集等の自作ビデオ作り

*希望される先生（一般募集者を含む）

パソコン講習会

8月3日（月）～4日（火）

の2日間【三河高校で】

時間・8時30分～16時

*パソコンの基礎理解、実技練習

*希望される先生

校内放送講習会

8月5日（水） 8時30分～

【六ヶ美中部小学校で】

*放送局アナウンサーによる校内放送練習

*各校放送担当の先生と児童・生徒1～2名